

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和元年度～令和4年度）
研究開発課題名	多層オミックス解析による個別化緑内障創薬
代表機関名	国立大学法人東北大学
研究開発代表者名	中澤 徹

総合評価：やや良い

【評価コメント】

東北大学独自の眼科検査データベース等を基にオミックス解析を行い、4種の病態因子ごとに関連する代謝物群を見いだしている。in vitro/in vivoの薬効評価系プラットフォームが確立され、緑内障治療の候補化合物探索の準備ができた点を評価する。

ただし、緑内障の患者層別化や病態因子の同定等では当初の目標に達しておらず、創薬基盤技術確立の観点から惜しまれる。今後、症例数を増やすと共に、実臨床で使用できる層別化マーカー候補の探索や新たな病態因子の可能性検討のための研究を進めることを望む。

以上